



初期歌舞伎図貼込屏風（部分）  
立命館大学アート・リサーチセンター蔵



遊楽図屏風（部分）大阪城天守閣蔵

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON ST. AND HAKUBUTSUKAN AVE.



長浜曳山まつり

誕生  
から  
子ども  
も  
狂言  
まで

# 歌 舞 伎

特別展

2019年  
1月31日 木  
3月3日 日  
会期中無休

開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）  
入館料 大人600円、小中学生300円（団体20名様以上2割引）  
※長浜市・米原市の小中学生は無料  
主催 公益財団法人長浜曳山文化協会

展示説明会  
日時 2月2日(土) 13:30～  
場所 曳山博物館 1階展示室  
〈要入館料・申込不要〉



特別展

# 歌 舞 伎

誕生から子ども狂言まで

長浜曳山祭で演じられる「子ども狂言（歌舞伎）」は、慶長八年（一六〇三）頃に京都で出雲阿国が、「ややこ踊り」をもとに「かぶき踊り」を創始したところにまで起源を遡ることができます。この阿国の「かぶき踊り」は次第に遊女歌舞伎へと姿を変えて全国で大流行しますが、風紀の乱れを理由に幕府より禁令を出されます。遊女歌舞伎が禁止されると、今度は若衆歌舞伎が台頭することになります。若衆歌舞伎は若衆（十二歳から十八歳頃の少年）の役者が演じる歌舞伎です。しかしこれも遊女歌舞伎と同様に禁止され、その後野郎歌舞伎が成立し、現在まで続く歌舞伎の形が完成されたと考えられています。

本特別展では、タイトルにもなっている歌舞伎に加えて、祭礼における芸能、曳山という長浜曳山祭の核となる三つの要素がどのような歴史を持っているのか、またどのように発展を遂げてきたのかということについて、それらが描かれた絵画を手掛かりとして紹介し、歌舞伎と長浜曳山祭子ども狂言の歴史を紐解くことができれば幸いです。



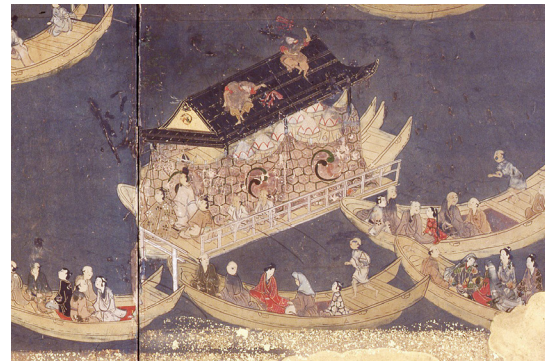
洛中洛外図屏風 左隻(部分) 武生公会堂記念館蔵



仮名手本忠臣蔵 九段目 大阪城天守閣蔵



曳山祭曳山鳳凰山版画 個人蔵



日吉山王祭礼図屏風(部分) 大阪城天守閣蔵

曳山の展示  
4月5日(金)まで

くじゃくざん  
孔雀山



ぼんざいろう  
萬歳樓



実物の曳山をご覧いただけます。  
(2019年長浜曳山祭に出場する曳山)

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

## 曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

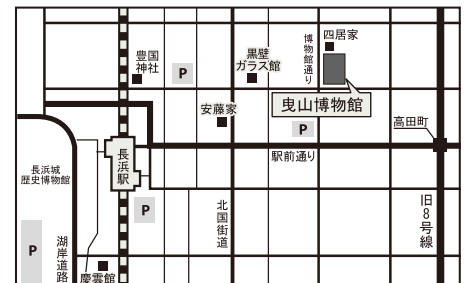
[TEL]0749-65-3300 [FAX]0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

入館料			
	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳 の提示で本人と 介護者1名

\*長浜市・米原市の小中学生は無料

■ 9時～17時(入館は16時30分まで)  
■ 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分